



佐世保から元気を 佐世保市長 朝長 則男

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国の経済は、国際的な金融不安、円高による国際競争力の低下、東日本大震災の後遺症、中国・韓国との関係悪化などの影響を受け、大変厳しい状況が続きました。また、年末には衆議院の解散・総選挙が実施され、新しい枠組みでの政権がスタートいたしました。そのような中、本市においては市制施行110周年の記念すべき年でもあったことから、成長戦略の本格的スタートの年として位置付け、「I・W・4・K」をキーワードとして、本土最西端に位置する地の利を生かし、企業立地の推進、観光振興、基地政策、国際戦略の推進に取り組んでまいりました。また5年に1度全国規模で開催される全国和牛能力共進会(和牛の祭典 in ながさき)をはじめとして数多くのイベントを開催し、大変多くの方々にご来訪いただき、それぞれのイベントで所期の目標を達成することができました。市民の皆さまにはそれぞれのお立場でご協力をいただき、改めまして感謝の意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げる次第であります。

さて、本年は第6次佐世保市総合計画の後期基本計画がスタートいたします。この計画では、東日本大震災に端を発した大規模な自然災害等への対応や国・地方を取り巻く厳しい財政運営など、本市を取り巻く社会経済環境の変化に対応すべく施策の見直しを図るとともに、まずは「佐世保から元気を」ということで、「成長性」と「持続可能性」をテーマとして、佐世保港が国の日本海側拠点港に選定されたことを契機とする「活力とにぎわいのあるみなとづくり」や、分譲開始を予定している「ウエストテクノ佐世保」(小佐々地域)への企業立地を推進する事業などに積極的に取り組むこととしています。特にこれらの事業を効果的に進めていくため、①成長戦略プロジェクト②安全・安心なまちプロジェクト③地域の絆プロジェクトという3つの重点プロジェクトを立ち上げ、「ひと・まち育む キラッ都」佐世保の実現を目指してまいります。

また、昨年4月1日、本市は「徳育推進のまちづくり」宣言をいたしましたので、「一徳運動」などの推進活動を社会全体で進め、市民運動として広がることを目指します。市民の皆さまには引き続きご理解をいただき、積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

このほか、石木ダム建設促進、救命救急センター整備、中学校給食の9月実施、地域包括支援センターの再編による増設、地域コミュニティモデル事業の実施、長崎がんばらば国体・長崎がんばらば大会の開催準備と国体競技別リハーサル大会開催、全国高等学校総合文化祭・全国高等学校総合体育大会空手道競技開催など、本年も取り組むべき課題は山積しておりますが、市民や市議会の皆さまと力を合わせて全力で取り組んでまいりますので、皆さまには引き続きご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が皆さまにとりまして素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。